

別紙

<1> 展覧会について

1. 名称 日本工芸の美—古代から近世まで—
2. 会期 2026年8月29日（土）～10月18日（日）
月曜日休館（ただし、9月21日〈祝〉、10月12日〈祝〉は開館し、9月24日〈木〉、
10月13日〈火〉が休館）
3. 開館時間 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
4. 入館料 一般 630円 高校・大学生 420円 小学・中学生 無料
5. 主催 大和文華館・近鉄グループホールディングス株式会社
6. 出陳品数 84件 ◎＝重要文化財
【飛鳥・奈良時代】
 - ・上代裂帖 飛鳥～奈良時代
 - ・風字瓦硯 奈良時代
 - ・黒漆漆皮盆 奈良時代 など
【平安時代】
 - ◎銅板地螺鈿花鳥文説相箱 平安時代
 - ・銅製秋草鳥蝶文鏡 平安時代後期
【鎌倉・室町時代】
 - ◎金銅蓮華形磬 鎌倉時代
 - ◎黒味銅地銀象嵌藤花鹿文太刀金具 鎌倉時代
 - ・灰釉壺（常滑） 鎌倉時代
 - ◎蒔絵籬菊文机 室町時代
 - ・根来塗天目台 室町時代 など
【桃山・江戸時代】
 - ・青貝蒔絵草花文洋櫃 桃山時代
 - ・竹製蒔絵椿柳文茶入 酒井抱一図案・原羊遊斎作 江戸時代後期
 - ・赤織部沓茶碗（美濃） 桃山時代
 - ◎染付山水文大皿（有田） 江戸時代前期
 - ・色絵おしどり香合 野々村仁清作 江戸時代前期
 - ・硝子蓋物 江戸時代後期 など

＜２＞ 展覧会会期中のイベントについて

1. 特別講演「飛鳥・奈良工芸と色彩の神秘」

（１）日時・場所 9月27日（日）午後2時から講堂にて

（２）講師 文化財活用センター主任研究員 三田覚之氏

2. 日曜美術講座「日本の工芸品の銘をめぐる」

（１）日時・場所 10月4日（日）午後2時から講堂にて

（２）講師 大和文華館 学芸部課長 宮崎もも

3. 講座 美術の窓 連続講座「江戸後期の浮世絵」第3回「歌川国芳…幕末の元気男」

（１）日時・場所 9月6日（日）午後2時から講堂にて

（２）講師 大和文華館 館長 浅野秀剛

4. 列品解説

（１）日時・場所 毎週土曜日午後2時から展示場にて

（２）解説 大和文華館 学芸部

5. 無料招待デー 9月16日（水）

※何れのイベントも参加は無料ですが、入館料が必要です。

※講堂の定員は100名です（予約不要・先着順）。

以 上